



平成 23 年 7 月 27 日

各 位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証マザーズ)
本社所在地	滋賀県大津市瀬田三丁目 4 番 1 号
代表者	代表取締役社長 仲 尾 功 一
問合せ先	代表取締役副社長 木 村 睦
TEL	(077) 543-7212
URL	http://www.takara-bio.co.jp/
親会社等の名称	宝ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長 大 宮 久 (コード番号 2531 東証、大証第 1 部)

中国での遺伝子治療プロジェクトの立ち上げについて

タカラバイオ株式会社と天津医科大学・天津市腫瘍病院とは、難治性がんを対象とした TCR 遺伝子治療の臨床研究を実施するため、共同研究契約を本年 7 月 27 日付で締結しました。2 年以内の臨床試験の開始を目指します。

TCR 遺伝子治療は、がん患者の血液から採取したリンパ球に、がん細胞を特異的に認識する TCR 遺伝子を体外において導入し、培養によって増殖させてから患者に戻すという治療法です。TCR 遺伝子が導入されたリンパ球が、患者の体内においてがん細胞のみを認識して攻撃し、消滅させることが期待されます。

当社は、三重大学医学部と共同で治療抵抗性の食道がんを対象とした TCR 遺伝子治療の臨床研究を実施中で、2013 年度に国内で TCR 遺伝子治療の治験を開始する計画です。また、米国国立がん研究所のローゼンバーグ博士らのグループが実施した悪性黒色腫(メラノーマ)を対象とした TCR 遺伝子治療の臨床試験の結果が 2006 年に Science 誌に発表され、初めてその有効性が示されました。なお、本臨床試験では当社が開発したレトロネクチン法が採用されています。その後も同グループを含む複数の施設において臨床試験が進められ、他の種類のがんに対しても有効性が示されています。

当社は、がんやエイズを対象とした複数の遺伝子治療プロジェクトの臨床開発を日本、米国で進めておりますが、中国で遺伝子治療の臨床開発を進めるのはこれが初めてです。当社は、本遺伝子治療プロジェクトの立ち上げを含め、今後も中国における遺伝子治療・細胞医療事業の拡大を図ってまいります。

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

< 参考資料 >

【語句説明】

TCR(T 細胞受容体)

T 細胞に発現される糖タンパク質で、T 細胞が抗原を認識する際の受容体です。腫瘍抗原を含む抗原は細胞内で分解されてペプチドとなり、HLA 分子上に提示されます。TCR は、特定の型の HLA により提示された特定の抗原を認識し、T 細胞を活性化します。

T 細胞

標的細胞の傷害と抗体産生の調節の役割を担う重要な細胞で、T リンパ球とも呼ばれます。免疫系の司令塔的な役割を担っており、末梢リンパ組織の胸腺依存領域に主に分布します。

腫瘍抗原

正常細胞ががん化するに伴って新たに発現するようになる抗原分子を総称して腫瘍抗原とよびます。

レトロネクチン法

レトロネクチン法は、ヒトフィブロネクチンと呼ばれる分子を改良した組換えタンパク質であるレトロネクチン®を用いた高効率遺伝子導入法です。レトロネクチン法は、いまやレトロウイルスベクターによる遺伝子治療の臨床研究のスタンダードとなっています。また、当社はレトロネクチン®の新たな機能として、効率よくリンパ球を増殖させる効果を発見しています。

以上